

ウォークラリー

コマ地図を頼りにポイントを探します。自然に関する問題が出されています。



ねらいとして考えられるもの

- ・仲間と協力し、コース図を読み取る楽しさを知る。
- ・課題を解決しながら、ゆっくり自然に親しむ。
- ・所内の自然について理解を深める。

可能な活動場所

所内ウォークラリー4コース

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導なし	4年生以上	通年	5~150人*1	1時間半	無料(コピー10円/枚)

団体が準備するもの

筆記具、時計、水筒、帽子
(マップ・解答用紙：ホームページより印刷可)

げんきプラザで貸し出せるもの

トランシーバー、温度計

実施要領

導入

- ① 動機づけ(下記「指導のポイント・展開のアイデア」参照)
- ② 安全上の注意(下記「留意点」参照)

準備(1グループ 4~6人程度)

- ① グループに1つずつ時計と筆記用具を持たせる。
- ② 活動中の指導者の配置を考える。(展望台・キャンプ場)
- ③ 班の数を考慮してスタートの方法を決める。
(班ごとに4、5分間隔でスタート、または数に応じて2コース・4コースを使用)
- ④ 温度計を準備する

実施

- ① 出発場所に集合する。(コース1・3：中庭 コース2・4：第2キャンプファイア場)
- ② コース図・解答用紙を全員に配布する。

<ルール>

- ・コマ地図の順にゆっくりとした速さで歩く。
- ・途中で道に迷ったら、わかっているコマ図まで戻る。
- ・コースの途中にはチェックポイント(C・P)があり課題があるので、班で協力し解く。
- ・得点は、課題得点が100点、時間得点が100点の計200点満点で競う。
- ・時間得点とは、標準タイムに対して早くても遅くても1分につき2点減点していく得点。
- ・標準タイムは問題を解くのに十分な時間。その時間はゴール後に発表する。
- ・(標準タイムは50分)

<地図の見方の説明>

- ・コマ地図の意味、チェックポイント・建物・道・川など記号の説明。
- ・黒丸は自分、矢印は進む方向、次のコマ地図までは道なりに進む、「G10」「M13」「Q15」などは他の刈エテ-リ-グのポイント、コマ地図では縮尺や東西南北の方位は同じではない。

<注意事項>

- ・下記「留意点」参照

スタート

- ・時間差でスタートする。スタート時刻を記入しておく。

答え合わせ

- ・ゴール時間を記入しておく。
- ・得点を集計する。
- ・問題の答えについて解説する。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記「指導のポイント・展開のアイデア」参照

留意点

- ① 自然保護・危険防止のため、遊歩道以外には入らない。
- ② 活動範囲を確認する。（「これより先刈エテ-リツグ のポストはありません」看板より先に行かない。県道に出ない。）
- ③ メンバーの体力差を考えながら、班全員でまとまって行動する。
- ④ 問題は協力して解く。
- ⑤ 緊急時には近くの指導者に連絡する。（指導者の配置を説明しておく。）

指導のポイント・展開のアイデア

- ・班で協力してできたかどうか
- ・班の中での自分の行動はどうだったか、他の人の行動はどうだったかふりかえる。